

1 健康管理

集団宿泊活動が効果的に展開されるためには、体調が良好であることが前提となります。

(1) チェックイン前の事前指導

- ①参加者全員の健康状態を事前に把握するようにしてください。
また、参加者の中に病気やアレルギー体質など特別に配慮が必要な場合は、あらかじめご相談ください。
- ②持病・車酔い等がある場合は、常備薬を持参するようにご指導ください。
- ③健康保険証、又はそのコピーは、(指導者も含めて) 参加者全員分を持参してください。
- ④参加者の人数が多い場合は、できるだけ看護師や養護教諭をスタッフに加えてお越しください。

(2) 滞在中の保健指導

- ①病人や負傷者がでた場合は、すみやかに事務室までお知らせください。
保健室利用の有無に関わらず、「傷病記録」をご記入いただきます。
- ②嘔吐や下痢などの症状がでた場合は、感染症の拡大を防ぐため自分たちで処理せず、直ちに事務室へ連絡してください。嘔吐物は職員が処理します。

(3) 保健室について

- ①保健室を利用する場合は、必ず事務室へお声かけください。
- ②内服薬は常備・提供しておりません。各団体で準備してください。
- ③保健室のベッドで休養をとる場合は、必ず大人の方が付き添いをしてください。
- ④AED(自動体外式除細動器)は、「玄関ホール」「宿泊棟A棟」「宿泊棟B棟とC棟の分岐(廊下)」に設置しています。

(4) 医療機関への連絡

- ①病院への連絡は自然の家職員が行います。名前、性別、年齢、生年月日、症状、内服薬の有無をお知らせください。
自然の家事務室から医療機関へ連絡を入れた場合のみ、保険証のコピーが適用されますので、必ず事務室までご報告ください。
- ②体調不良者の医療機関への搬送は、各団体の緊急車両で行ってください。
- ③医療機関から帰所後、診断結果やその後の対応などを「傷病記録」の用紙に記入し、事務室までご提出ください。

(5) 本館・キャンプ場近隣の救急指定病院

白河厚生総合病院 自然の家本館からの所要時間：40分
電話：0248-22-2211

(6) 那須ロッジ近隣の緊急指定病院

菅間記念病院 那須ロッジからの所要時間：40分
電話：0287-62-0733

2 安全管理

自然体験は常に危険と隣り合わせの状況で展開されます。万全な安全対策のもと、子供たちがのびのびと意欲を持って活動できるよう、以下の点に留意しながら活動プログラムを展開してください。

素晴らしいプログラムを展開するためにも安全対策については万全の対策で臨んでください。

(1) 野外活動における安全対策

○計画する上で

- ①無理のない活動プログラムを選択してください。
- ②自然環境や気象条件をしっかり把握してください。
季節や時間および天候によって実施できないプログラムもあります。
- ③実地踏査を必ず行ってください。
危険箇所や休憩場所の確認、指導者の配置場所を把握しておきましょう。
- ④指導者やリーダーの役割分担を明確にしてください。

○活動を始める前に

- ①子供たちの健康観察を必ず行ってください。
- ②装備や活動用具などの事前点検を行ってください。
- ③野外活動の際は「野外活動確認票」の提出し、無線機を携帯してください。
無線機は、本館事務室との緊急連絡用に使用します。（事務室より1台貸出）
必要に応じて、簡易トランシーバー（1台につき電池単3×3本使用。団体が電池を持参）を団体に貸し出しております。
- ④気象情報を確認してください。
- ⑤野外の危険生物（クマ、スズメバチ、マダニなど）の知識を事前に把握し、指導を行ってください。
- ⑥屋外の広場の斜面や屋内の窓、手すりなどから転落を防止するため、安全な行動の指導を徹底してください。

○活動中は

- ①子供たちの活動の様子をしっかり把握してください。
- ②事故が発生したら直ちに本館事務室に連絡を入れてください。
無線機などを使って連絡してください。事故内容や状況に応じて適切に対応いたします。

○活動が終了したら

- ①参加者全員の安全を確認してください。
全員の人員点呼を必ず行ってください。
- ②事務室に無線機を返却し、活動が終了したことを報告してください。

(2) 緊急連絡先

- ①急病・事故・火災などの発生時には、直ちに事務室へ連絡してください。
 - ②22時以降は、宿直室に連絡してください。
 - ③野外活動中の緊急時は、無線機で事務室へ連絡してください。
- ※事務室内線：140、宿直室内線：145

(3) 災害時の避難場所

- ・入所後すぐに避難場所と避難経路を確認してください。
- ・避難場所では、職員の指示に従ってください。

避難場所

